

何の予告もなしに、神よ！あなたはひどい！



●驚異の立体音響
実況再生方式上映

スーパー・スペクタクル・ドキュメント

大火災・大竜巻・大地震……
生と死の決定的瞬間をカメラが
捉えた！あなたはいま20世紀に
起った大惨事の真っ只中にいる！

■心臓の弱い方はご入場できません—

カタストロフ

世界の大惨事

CATASTROPHE

監督・脚本■ラリー・サドブ
カラー作品■日本語版（ナレーター）小林恭二



音楽■レイ・エリス 音響効果■シーン・コロソ ロレーン・ミッチェル
東宝東和提供 アメリカ映画

衝撃の日！4月22日（土）ロードショー

なんば
高島屋前
南街3F

南街シネマ

06 (632) 5575

世界各国で上映禁止!

ショック・シーンの連続に失神者続出

地震、ハリケーンなどの異常な自然現象、また火災、航空、海上でのアクシデントなど次々と起る20世紀の驚異的な大事件——。この映画は大惨事の現場を捉え、ショッキングなシーンの連続に世界各国で轟々たる反響を呼んだ。そして人間の持つ“恐いもの見たさ”の心理を大きく刺激し大ヒットを記録している。ボストンでは公開後3日間で174人もの失神者が続出、シカゴではこの映画のテレビCMが放映禁止。カナダでは78年2月公開、カナダ映画興行史上最高のヒット作となった。またブラジルでは火災シーンをカット、西ドイツでは婦人団体が劇場前で上映中止デモ、スペインでは公開2日後に上映禁止となった。

だれも憶えていたくない!

カタストロフ〈破局〉の証言——

- 私はなぜか英雄になってしまった。ただラッキーなだけだったのに…。(ヒンデンプルグ号爆発の際、九死に一生をえた乗客のジョセフ・スパー氏)
- エトナ火山は土地を豊かにし、我々にぶどう畑による繁栄を与えてくれたが、いまその代償を求めにやって来た。(シチリアの農家で神に祈る老婆)
- 私たちの街は破壊されたのではない。無くなってしまったのだ。(ハリケーンで街の人々を救出にきた地元警備隊員)
- もう何も言いたくないわ。実際に被害にあった人にしかわからないわ。(高層ビルの大火災で奇跡的に助ったOLのオリビアさん)
- 観客はわれわれのデッドヒートを見にくる。そしてレースの事故をも見にくる。(相次ぐ事故で興奮する観客に向かってベテラン・レーサーのボビー・アンサー)
- 自然には規則性がある。人間はただそれを知らないだけだ。(地震多発地にある原子炉で働く研究者)

ご入場の際はあらかじめ
出口を確めて下さい

●心臓の
弱い方は
ご入場できません

カタストロフ

世界の大惨事

カラー作品/日本語版 TOWA 東宝東和提供/アメリカ映画

スーパー・スペクタクル・ドキュメント

驚異の立体音響—実況再生方式上映

生と死はうらおもて

だれが明日生き残れるか……

18秒に1人の生があり、45秒に1人の死がある。いつかは絶えてしまう生であるなら、安らかな死を迎えたい——

圧死、焼死、窒息死、でき死。そして形容することのできない悲惨な死。ここに描かれた、おびただしい死者の数は、他のいかなるドキュメンタリーも、足もとにも及ばない。90分のフィルムに1130余名の犠牲者、425万余名の被災者。さらにカメラは、今もなお、そして未来へと確実に増え続けるであろう犠牲者の鎮魂と暗示をもって、人類がたどりつくカタストロフ(破局)への道程を描ききっている。今あなたは、確実に自己の存在感を、知らしめられるにちがいない。

2度と撮れない! 2度と見れない!

あなたは 大惨事の真ツツ中にいる!

- 1969年8月18日、アメリカ建国以来最大のハリケーン、フロリダを襲う。その恐怖と惨状!
- 1937年5月6日、世界最大の飛行船ヒンデンプルグ号、謎の大爆発!
- 1973年5月28日、インディ500-F1の凄絶なデスレース、死へのドライブ!
- 1974年4月3日、巨大な竜巻がアメリカ11州を席卷。自然界の水爆といわれるその生々しい痕跡!
- 1956年7月25日、イタリア豪華客船アンドレア・ドリア号、大西洋上で濃霧のためストックホルム号と衝突。悲鳴と号泣の中でドリア号轟沈!
- 1974年2月1日、サンパウロの高層ビルで大火災。ビルは地獄と化した火の墓標となり、火の粉のように飛び散る何百人もの人、人!
- エトナ火山の大噴火、アメリカ西部の干バツ、そして原子力廃棄物による戦慄の地球壊滅への幕開け、これらは20世紀のカタストロフの序章にすぎない。

